



全日本剣道連盟
設立70周年記念

第61回 全日本 女子剣道 選手権大会

[と き]

令和4年9月4日(日)

午前9時20分 開会／午前10時 試合開始

[と ころ]

ジェイテクトアリーナ奈良

主 催 公益財団法人全日本剣道連盟

主 管 一般財団法人奈良県剣道連盟

後 援 スポーツ庁／奈良県／奈良県教育委員会
公益財団法人奈良県スポーツ協会
橿原市／橿原神宮／毎日新聞社

<https://www.kendo.or.jp>



剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとようとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定
全日本剣道連盟



全日本女子剣道選手権大会に下賜された皇后盃

全日本剣道連盟の永年の念願でありました、皇后盃が平成9年第36回大会から下賜されました。

剣道への皇后盃下賜は、柔道・バレーボール・卓球・バスケットボール・なぎなた・ソフトボール・弓道に次いで第8番目となります。

なお天皇杯は既に昭和33年から全日本剣道選手権大会に下賜されており平成9年度から剣道界は天皇杯・皇后盃の両方を下賜されるという栄誉を与えられました。



挨拶

公益財団法人 全日本剣道連盟

会 長 網 代 忠 宏

設立 70 周年記念第 61 回全日本女子剣道選手権大会をここジェイテクトアリーナ奈良において、全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え開催するにあたりご挨拶いたします。

コロナ感染予防対策を取りながら各地区で予選会を開催して頂いた、各都道府県剣道連盟に深く感謝申し上げます。

本大会は、平成 9 年には皇后盃が下賜され、女子の剣道大会の中で最も権威ある大会であります。その歴史は、昭和 37 年第 1 回大会を大阪で開催して以来、平成 7 年からは名古屋市、平成 17 年から静岡県藤枝市、平成 23 年の第 50 回大会から兵庫県姫路市、平成 28 年より長野市で開催しており、昨年の 60 回大会より奈良県橿原市で開催することとなりました。

出場資格については今大会より、前年度優勝者の無条件出場を復活し、前年度優勝者及び各都道府県での予選を勝ち抜かれた女性剣士 64 名による、皇后盃の獲得を目指す大会となります。充実した試合が展開され、最高の力をこの場において発揮されることを期待しております。

近年、女子剣道の普及と充実が目覚しく、世界剣道選手権大会を始め、各種大会において熱戦が繰り広げられております。初段取得者のうち女子剣士は約 3 分の 1 以上を占める状況にあり、六段・七段の取得者についても、年々増加傾向にあり、今後も「女子委員会」を中心に、より一層の女子剣道の充実と普及・発展に力を入れております。

女性剣士の活躍は、中学校での武道必修化や子ども達への普及振興や教育の面にも好影響を与えてくれるものと確信いたします。更には、この全日本女子剣道選手権大会の出場・活躍を夢見る少女剣士たちのよき模範となることを希望します。今後も、剣道の一層の普及発展を図るための諸施策を推進し、広く青少年の健全育成に寄与していく所存であります。

終わりに、本大会の開催にあたりご後援を頂いたスポーツ庁・奈良県・奈良県教育委員会・公益財団法人奈良県スポーツ協会・橿原市・橿原神宮・毎日新聞社、主管団体として運営にご尽力を頂いた一般財団法人奈良県剣道連盟、並びに関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。



祝 辞

文部科学大臣 永岡 桂子

第61回全日本女子剣道選手権大会が、本日ここに開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の厳しい稽古を通して心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重する態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。

剣道が今日、子供から高齢者に至るまで、世代を超えて幅広い年齢層の人から親しまれ、海外においても広く普及・発展するなど、国際的発展を遂げておりますことは誠に喜ばしいことです。

このような中、半世紀を超える歴史を誇る本大会は、全国各地の厳しい予選を勝ち抜かれた女性剣士が一堂に会する国内最高峰の大会です。

選手の皆様は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される厳しい環境の中であっても、日々、稽古に打ち込んだと思います。日頃の稽古の成果を存分に発揮されますとともに、大会を通じて剣道を愛好する仲間との交流を深め、「交剣知愛」の輪を広げられることを願っております。

スポーツ庁としては、アスリートや子供たちの活動の機会を守り、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に対し深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。



挨拶

一般財団法人 奈良県剣道連盟

会 長 吉 田 克 法

第61回全日本女子剣道選手権大会が、昨年に引き続き、国のまほろば橿原のジェイテクトアリーナ奈良で開催されるにあたり、主管させていただく奈良県剣道連盟を代表して心より歓迎申し上げます。

昨年のこの大会は、東京オリンピックの後に開催されましたが、無観客とはいえ非常に盛り上がりを見せ、素晴らしい内容の試合でありました。

奈良県剣道連盟が一丸となって大会運営を行い、各方面より賞賛のお言葉をいただきました。今年も昨年同様、国内女子剣道大会で最も権威あるこの大会にむけ、鋭意準備を進めてまいりました。再度新型コロナウイルスの感染拡大が起こっている状況ではありますが、ガイドラインに従って、安全安心に大会が運営できるよう努めてまいります。

さて、今年は全日本剣道連盟設立70周年にあたります。この記念すべき年に第61回全日本女子剣道選手権大会を奈良の地で開催できることは、誠に光栄に存じます。

1962年昭和37年5月に全日本女子剣道優勝大会として第1回大会が開催されており、今年で61回を数え年々盛大になっております。女子の剣道人口は2007年の調査によりますと、全剣道人口の約四分の一が女性剣士であり、現在ではその割合がさらに多くなっております。

全剣道人口が減少傾向にある中で、少年少女剣士を育てる女性剣士の果たす役割はますます重要であると思われます。今回、この大会へ参加された選手の皆様は、厳しい環境の中で練習を積み重ね、勝ち抜いてこられた方々です。日々の鍛錬した力を十二分に発揮されることを期待するとともに、相互の親睦を深めてもらうことを祈念いたします。

最後に、度重なるコロナ禍の中で大会を開催していただきます公益財団法人全日本剣道連盟、ご後援いただきましたスポーツ庁、奈良県、奈良県教育委員会、公益財団法人奈良県スポーツ協会、橿原市、橿原神宮、毎日新聞社各位に感謝の意を表して挨拶といたします。

第61回全日本女子剣道選手権大会要項抜粋

1. 趣 旨

女子剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた女子選手により、皇后盃の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

2. 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

3. 出場選手資格および人員

各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している女子。

(1) 年齢は満18歳以上とし、段位の制限はしない。

(年齢計算は、令和5年4月1日を基準とし、平成17年4月1日以前に生まれた者)

(2) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

予選会出場者は、令和4年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(3) 出場選手人員は次のとおりとする。

東京 …………… 4名
埼玉・千葉・愛知・大阪 …………… 3名
茨城・神奈川・兵庫・福岡 …………… 2名

その他の道府県 …………… 1名

開催県 …………… 1名

前年度優勝者 …………… 1名

計 64名

4. 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。

(2) 竹刀の基準は、大学生・一般の長さ、重さ、太さとする。

(3) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位（2名）を決定する。

(4) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区分切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗が決するまで継続する。

5. 表 彰

(1) 選手権者には、皇后盃・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

(2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

(3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

(4) 出場選手には参加賞を贈る。

大 会 次 第

1. 選 手 集 合	8:00
2. 選 手 整 列	9:15
3. 役 員 ・ 審 判 員 整 列	9:20
4. 開 会 式	9:20～ 9:50
5. ※ 日 本 剣 道 形	9:50～10:00
6. 試合1回戦 2試合場(各16試合)	10:00～12:10
7. 試合2回戦 2試合場(各8試合)	12:10～13:20
8. 試合3回戦 2試合場(各4試合)	13:20～14:00
9. 試合4回戦 2試合場(各2試合)	14:00～14:20
10. 試合準決勝 1試合場(2試合)	14:30～14:50
11. 試合決勝 1試合場(1試合)	15:00～15:10
12. 閉 会 式 表 彰	15:20～15:45

※印は公開演武

開 会 式

1. 選 手 整 列	9:15
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列	9:20
3. 国 歌 斉 唱	
4. 皇后盃返還(レプリカ授与)	
5. 優勝旗・優勝杯返還	
6. 10回出場表彰	
7. 主催者挨拶	
8. 関係者紹介	
9. 試合上の注意	
10. 選 手 退 場	9:50

閉 会 式

1. 役 員 ・ 選 手 整 列	15:20
2. 表 彰	
3. 優 秀 選 手 発 表	
4. 挨 拶	
5. 退 場	15:45

(順不同)

— 6 —

競 技 役 員

(順不同)

総務部 (経理) (広報) (記録・速報)	伊東康裕 脇阪一人 前田由紀 中村真希	西田大佐 本山啓子	相木吉隆
会場総括	寺園誠	濱田英徳	
受付係	松田美智代 泉井伸之	村本和史	鎌塚いづみ 中本利子
放送係	北村照美	中井恵子	星野聡子
速報係	田村泰	山本英二	木南晃寿 兼松良彰
第1試合場係 主 任 時 計 掲 示 記 録 選 手 係	森本大介 米澤道誠 北村明彦 萩田高弘 中本朋代	松田剛士 藤原克己 大北晶子 讃岐有華	森崎太郎 宇野惇之 豊田大 奈良大付属高校5名
第2試合場係 主 任 時 計 掲 示 記 録 選 手 係	中井克典 乾卓也 山口力也 大東実里 細田桃夏	福本篤志 井上忠紀 杉村崇文 池上奈美子	垣内加奈子 中本孝則 池尻雄亮 奈良大付属高校5名
竹刀検査	小角康夫 梅尾厚弘	福本恵和 高田大介	細田至紀 山口匡知
場内掲示係	松山正義	松尾崇	吉村治高
接待係	谷貞子 中田智恵子	玉木敦子	松澤敦子 伊夫伎千晴
救護	佐本憲宏		
警備	片岡秀晃	西岡健司	西中正
コロナ対策係	豊田晴行	辰巳博之	梶原弘貴

審判員



審判長
剣道範士
氏 家 道 男



審判主任
剣道範士
水 田 重 則



審判主任
剣道範士
松 田 勇 人



剣道教士
山 本 由 香



剣道教士
佐 藤 さとみ



剣道教士
栗 田 幸 枝



剣道教士
飯 田 通 子



剣道教士
寺 地 里 美



剣道教士
久 松 博 美



剣道教士
道 内 由佳里



剣道錬士
今 道 恵 子



剣道教士
井 上 美奈子



剣道教士
石 田 真理子



剣道教士
阿 部 都貴子



剣道教士
川 原 清 美



剣道教士
芦 田 環



剣道教士
忠 政 美 樹



剣道教士
藤 井 あ 子



剣道教士
中 島 利 恵



剣道教士
緒 方 有 希



剣道教士
新 原 のぞみ

第61回全日本女子剣道選手権大会 審判員割当表

審判長 氏 家 道 男 (東京)

第1試合場

主任 水 田 重 則 (茨 城)

- 1組 ① 川 原 清 美 (兵 庫)
② 寺 地 里 美 (東 京)
③ 久 松 博 美 (千 葉)

- 2組 ① 佐 藤 さとみ (福 島)
② 今 道 恵 子 (愛 知)
③ 緒 方 有 希 (熊 本)

- 3組 ① 井 上 美奈子 (三 重)
② 山 本 由 香 (北 海 道)
③ 新 原 のぞみ (鹿 児 島)

第2試合場

主任 松 田 勇 人 (奈 良)

- 1組 ① 飯 田 通 子 (東 京)
② 石 田 真理子 (大 阪)
③ 中 島 利 恵 (大 分)

- 2組 ① 道 内 由香里 (福 井)
② 芦 田 環 (岡 山)
③ 藤 井 あ 子 (山 口)

- 3組 ① 栗 田 幸 枝 (埼 玉)
② 忠 政 美 樹 (岡 山)
③ 阿 部 都貴子 (兵 庫)

〔備考〕 1 1回戦から4回戦までは、2試合場で実施。
準決勝戦より1試合場で実施。
2 () 内は、登録の都道府県剣道連盟。

女子剣道の現状

わが国の女子剣道の普及・発展は近年特に著しく、戦後の剣道の新しい流れとなっている。

本大会は、全日本都道府県対抗剣道優勝大会の第10回を記念し、昭和37年5月3日に5県8名の参加により、第1回大会が開催された。

昭和46年の第10回大会には参加選手37県44名と充実し、大会名を選手権大会と改め、また都道府県対抗大会と同日に行っていた本大会は、昭和62年第26回大会より独立し開催した。

また、かねてより熱望してやまなかった皇后盃が、平成9年第36回大会より優勝者に授与されることとなり、名実ともに女子選手権者の決定大会となった。

女子剣道の底辺は広くなり、幼少年から中・高・大学生・一般、さらには既婚者等と各地域・職域において盛んに行われている。

また全国規模の女子剣道大会は、本大会を皮切りに別表のとおり各関係団体の尽力により華々しく開催され、現状の隆盛を見ることが出来たことは実に喜ばしいことである。

さらに本連盟では、女子剣道の普及現状に鑑み、昭和59年にママさん剣士による第1回全国家庭婦人剣道大会を、昭和63年第1回女子剣道講習会の開催、平成10年第1回女子剣道審判講習会の開催、平成28年女子剣道指導法講習会の開催、また女性剣士による討論会の企画・実施など、女子剣道の正しい普及・振興に寄与している。

さらに平成18年度より、女子審判法研修会を女子剣道七段の中から指定して開催し、平成21年度より全国家庭婦人大会に変わり実施する全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会ならびに全日本女子剣道選手権大会の審判に起用している。

女子有段者登録については、別表に示すとおりであり、女性剣士最高段位の七段は令和4年3月現在772名、六段についても1,462名の登録者があり、各段位とも女子剣士の修練がうかがわれる。

令和3年度の初段合格者25,688名のうち、10,052名が女性であるという事実から、ますますわが国の女子剣道の発展が予想されよう。

全国大会における女子剣道の参加

大会名	女子の参加年度
全国中学校剣道大会	昭和54年、女子の部団体試合開催
	平成3年、女子の部個人試合開催
全国高等学校剣道大会	昭和38年、女子の部個人試合開催
	昭和44年、女子の部団体試合開催
全日本学生剣道大会	昭和42年、女子の部個人試合開催
	昭和57年、女子の部団体試合開催
全国青年剣道大会	昭和50年、女子の部団体・個人試合開催
全国スポーツ少年団剣道交流大会	昭和54年、第1回大会より女子参加
全国高等学校定時制・通信制剣道大会	昭和50年、女子の部個人試合開催
	平成9年、女子の部団体試合開催
全国教職員剣道大会	昭和56年、女子の部個人試合開催
全国家庭婦人剣道大会	昭和59年～平成20年 団体試合開催
全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	平成21年、団体試合開始
国民体育大会剣道大会	平成元年、少年女子の部団体試合開催
	平成9年、成年女子の部団体試合開催
全日本実業団剣道大会	平成10年、女子の部団体試合開催
世界剣道選手権大会	平成12年、女子の部個人試合正式種目開催
	平成15年、女子の部団体試合正式種目開催

女子剣道有段者年度別登録

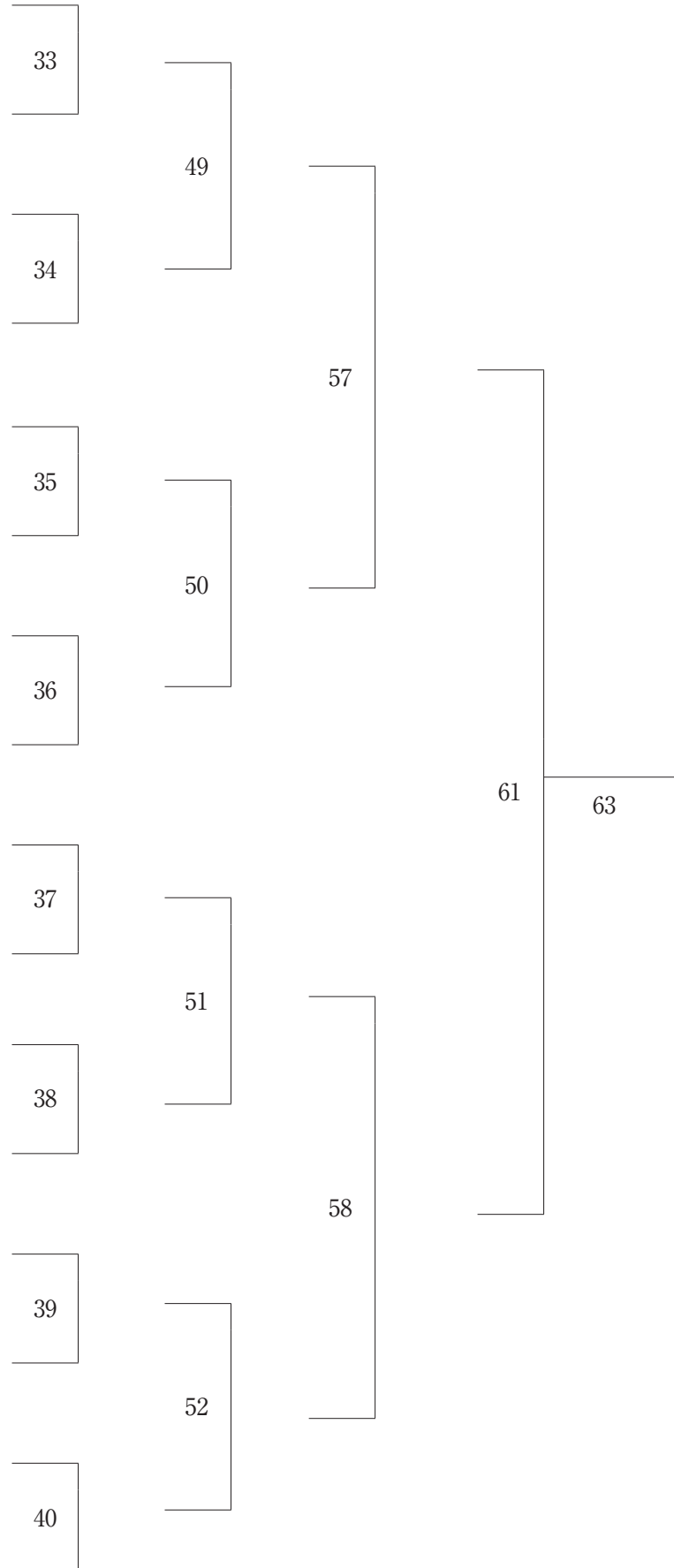
	七段	六段	五段	四段	三段	二段	初段
令和3年度	160	232	268	562	2,791	5,544	10,052
令和2年度	45	67	170	440	2,590	5,738	8,688
平成31年度(令和1年度)	66	143	281	585	2,976	7,296	10,607
平成30年度	65	169	373	753	3,246	8,000	11,759
平成29年度	78	150	333	709	3,281	8,433	12,592
平成28年度	48	128	276	701	3,402	8,566	12,655

第61回 全日本女子剣

(令和4年9月4日(日))

第1試合場

番号	段位	出場 回数	県 名	氏 名
1	三段	2	(愛 知)	大 嶋 友莉亜
2	五段	5	(東 京)	佐 藤 みのり
3	四段	初	(大 阪)	玉 置 万 優
4	三段	初	(大 分)	峯 松 加 奈
5	四段	初	(宮 城)	岸 野 真 知
6	五段	8	(福 井)	大 西 ななみ
7	四段	2	(千 葉)	田 添 千 尋
8	錬六	11	(和歌山)	末 永 真 理
9	三段	初	(奈 良)	細 田 琴 里
10	四段	7	(青 森)	小 松 加 奈
11	四段	初	(埼 玉)	宮 沢 彩 夏
12	三段	2	(佐 賀)	中 村 日 南
13	三段	2	(静 岡)	川 合 芳 奈
14	五段	2	(長 野)	古 畑 匡 希
15	四段	2	(愛 媛)	渡 邊 茜
16	四段	6	(栃 木)	竹 中 美 帆
17	五段	7	(埼 玉)	志 藤 綾 子
18	四段	初	(愛 知)	岩 田 茉 子
19	三段	2	(岡 山)	水 川 晴 奈
20	四段	初	(沖 縄)	宮 城 瑠 佳
21	三段	初	(茨 城)	笠 日向子
22	五段	3	(大 阪)	北 井 真 結
23	四段	初	(宮 崎)	米 良 加奈子
24	三段	初	(岩 手)	レヴィン 小倉名峰美
25	三段	初	(新 潟)	相 場 葵
26	四段	初	(鳥 取)	山 田 あ い
27	四段	初	(香 川)	真 野 愛 弓
28	四段	2	(東 京)	諸 岡 温 子
29	五段	7	(神奈川)	高 橋 萌 子
30	五段	2	(兵 庫)	木 村 歩由実
31	六段	14	(秋 田)	加 藤 由 佳
32	四段	4	(福 岡)	村 田 桃 子



道選手権大会 組合せ表

・ジェイテクトアリーナ奈良)

第2試合場

		氏 名		県 名	出場 回数	段位	番号
62	59	41	17	山 室 愛 子	(徳 島)	初 三段	33
				尾 崎 麻 美	(京 都)	5 六段	34
			18	松 本 弥 月	(神奈川)	9 五段	35
				竹 村 奈緒美	(岐 阜)	10 六段	36
			19	大 西 希 望	(千 葉)	初 三段	37
				岩 本 瑚 々	(長 崎)	3 四段	38
			20	名 越 友 美	(広 島)	4 五段	39
				藤 崎 薫 子	(大 阪)	初 四段	40
		42	21	小 川 梨々香	(埼 玉)	5 四段	41
				森 山 加 世	(島 根)	4 五段	42
			22	松 本 泉 帆	(兵 庫)	3 四段	43
				能 地 琴 音	(北海道)	初 三段	44
			23	阿 部 美 洸	(東 京)	7 五段	45
				高 木 夏 海	(石 川)	初 四段	46
			24	片 山 果沙稀	(愛 知)	4 五段	47
				糸 山 亜 美	(福 岡)	4 五段	48
	54	43	25	柿 元 冴 月	(茨 城)	2 三段	49
				齋 藤 眞紀子	(山 形)	初 五段	50
			26	渡 邊 タ イ	(熊 本)	8 五段	51
				井 上 彩 花	(三 重)	初 五段	52
			27	有 賀 眞 紀	(山 梨)	6 五段	53
				八 木 優 澄	(滋 賀)	2 四段	54
			28	和 栗 宏 恵	(東 京)	初 五段	55
				立 花 愛 莉	(高 知)	初 三段	56
	55	44	29	妹 尾 舞 香	(福 岡)	3 四段	57
				眞 下 ゆ ず	(群 馬)	初 三段	58
			30	田 村 久 美	(山 口)	4 五段	59
				若 松 千 春	(福 島)	2 五段	60
			31	末 吉 杏 梨	(鹿児島)	初 四段	61
				永 井 杏 奈	(千 葉)	初 三段	62
			32	相 原 清 乃	(奈 良)	6 四段	63
				佐 藤 詩 央	(富 山)	2 四段	64
	60	45					
	56	46					
	53	47					
	59	48					

出場選手一覧



愛知県代表

① ^{おおしま ゆりあ} 大嶋 友莉亜 (21歳)

1. 三段
2. 学生（鹿屋体育大3年）
- 3.
4. 愛知県
5. 選手権大会2回目出場
女子都道府県大会出場
全国高校大会優勝
国体出場



東京都代表

② ^{さとう みのり} 佐藤 みのり (25歳)

1. 五段
2. 警察官（警視庁）
3. 法政大学
4. 福島県
5. 選手権大会5回目出場2位



大阪府代表

③ ^{たまき まゆ} 玉置 万優 (25歳)

1. 四段
2. 警察官（大阪府警察）
3. 近畿大
4. 静岡県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生優勝大会出場
全日本女子学生選手権大会出場



大分県代表

④ ^{みねまつ かな} 峯松 加奈 (20歳)

1. 三段
2. 学生（鹿屋体育大2年）
- 3.
4. 大分県
5. 選手権大会初出場
全国高校選抜大会出場2位
国体出場2位



宮城県代表

⑤ ^{きしの まち} 岸野 真知 (25歳)

1. 四段
2. 警察官（宮城県警察）
3. 宮城県立小牛田農林高
4. 宮城県
5. 選手権大会初出場
全国高校大会出場
全国警察剣道大会
全国警察剣道選手権大会



福井県代表

⑥ ^{おおにし ななみ} 大西 ななみ (27歳)

1. 五段
2. 教員（福井県立敦賀高）
3. 筑波大
4. 鹿児島県
5. 選手権大会8回目出場2位・3位
全日本女子学生選手権大会優勝
全国教職員大会優勝
国体優勝



千葉県代表

⑦ ^{たぞえ ちひろ} 田添 千尋 (22歳)

1. 四段
2. 学生（清和大4年）
- 3.
4. 長崎県
5. 選手権大会2回目出場
全日本女子学生優勝大会出場
全国高校大会出場



和歌山県代表

⑧ ^{すえなが まり} 末永 真理 (旧姓 山本真理子) (34歳)

1. 錬士六段
2. 団体職員（一般社団法人み・ゆーじ）
3. PL学園高
4. 大阪府
5. 選手権大会11回目出場優勝2回・2位・3位4回
世界大会団体優勝4回・個人2位、全国警察剣道大会優勝・2位、全国警察剣道選手権大会優勝5回・2位・3位2回



奈良県代表

⑨ ^{ほそだ ことり} 細田 琴里 (21歳)

1. 三段
2. 学生（同志社大3年）
- 3.
4. 奈良県
5. 選手権大会初出場
全国高校大会出場
国体出場



青森県代表

⑩ ^{こまつ かな} 小松 加奈 (24歳)

1. 四段
2. 学校職員（東奥義塾高）
3. 明治大
4. 宮城県
5. 選手権大会7回目出場3位
全日本女子学生優勝大会2位
全日本女子学生選手権大会優勝



埼玉県代表

⑪ ^{みやざわ あやか} 宮沢 彩夏 (26歳)

1. 四段
2. 警察官 (埼玉県警察)
3. 国際武道大
4. 埼玉県
5. 選手権大会初出場
全国警察剣道大会出場



佐賀県代表

⑫ ^{なかむら ひな} 中村 日南 (21歳)

1. 三段
2. 学生 (日本体育大3年)
- 3.
4. 佐賀県
5. 選手権大会2回日出場
全日本女子学生優勝大会3位
国体出場



静岡県代表

⑬ ^{かわい かな} 川合 芳奈 (20歳)

1. 三段
2. 学生 (筑波大2年)
- 3.
4. 静岡県
5. 選手権大会2回日出場3位
全国高校大会2位



長野県代表

⑭ ^{ふるはた まさき} 古畑 匡希 (28歳)

1. 五段
2. 公務員 (長野市消防局)
3. 長野救命医療専門学校
4. 長野県
5. 選手権大会2回日出場
全国高校大会出場
全国消防職員剣道大会女子個人
戦優勝



愛媛県代表

⑮ ^{わたなべ あかね} 渡邊 茜 (22歳)

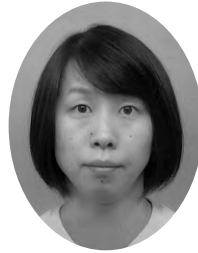
1. 四段
2. 学生 (筑波大4年)
- 3.
4. 愛媛県
5. 選手権大会2回日出場



栃木県代表

⑯ ^{たけなか みほ} 竹中 美帆 (25歳)

1. 四段
2. 団体職員 (栃木県スポーツ協会)
3. 筑波大
4. 鳥取県
5. 選手権大会6回日出場3位2回
世界大会出場団体優勝



埼玉県代表

⑰ ^{しとう あやか} 志藤 綾子 (30歳)

1. 五段
2. 会社員 (伊田テクノス株式会社)
3. 大東文化大
4. 山形県
5. 選手権大会7回日出場2位
東西対抗大会出場
女子都道府県大会出場
国体出場



愛知県代表

⑱ ^{いわた まき} 岩田 茉子 (22歳)

1. 四段
2. 学生 (駒澤大4年)
- 3.
4. 愛知県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生優勝大会出場
全日本女子学生選手権大会出場
全国高校大会出場
全国高校選抜大会出場



岡山県代表

⑲ ^{みずかわ はるな} 水川 晴奈 (20歳)

1. 三段
2. 学生 (法政大2年)
- 3.
4. 岡山県
5. 選手権大会2回日出場
女子都道府県大会優勝
全日本女子学生選手権大会優勝



沖縄県代表

⑳ ^{みやぎ るか} 宮城 瑠佳 (21歳)

1. 四段
2. 学生 (国際武道大3年)
- 3.
4. 沖縄県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場



茨城県代表

⑲ ^{りゅう ひなこ} 笠 日向子 (20歳)

1. 三段
2. 学生 (筑波大2年)
- 3.
4. 福岡県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会3位
全日本女子学生優勝大会3位
全国高校大会優勝



大阪府代表

⑳ ^{きたい まゆ} 北井 真結 (27歳)

1. 五段
2. 警察官 (大阪府警察)
3. PL学園高
4. 大阪府
5. 選手権大会3回目出場



宮崎県代表

㉑ ^{めら かなこ} 米良 加奈子 (25歳)

1. 四段
2. 警察官 (宮崎県警察)
3. 国土館大
4. 宮崎県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生優勝大会3位



岩手県代表

㉒ ^{おぐら なおみ} レヴィン小倉 名峰美 (19歳)

1. 三段
2. 学生 (駒澤大1年)
- 3.
4. 岩手県
5. 選手権大会初出場
全国高校大会優勝



新潟県代表

㉓ ^{あいば あおい} 相場 葵 (22歳)

1. 三段
2. 学生 (日本体育大4年)
- 3.
4. 新潟県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生優勝大会3位
全日本女子学生選手権大会出場
全国高校大会出場
全国高校選抜大会出場



鳥取県代表

㉔ ^{やまだ} 山田 あい (26歳)

1. 四段
2. 警察官 (鳥取県警察)
3. 大阪体育大
4. 鳥取県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生優勝大会出場



香川県代表

㉕ ^{まの あゆみ} 真野 愛弓 (22歳)

1. 四段
2. 学生 (香川大4年)
- 3.
4. 岡山県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生選手権大会出場



東京都代表

㉖ ^{もろおか あつこ} 諸岡 温子 (22歳)

1. 四段
2. 学生 (中央大4年)
- 3.
4. 福岡県
5. 選手権大会2回目出場優勝
全日本女子学生優勝大会優勝
全日本女子学生選手権大会2位



神奈川県代表

㉗ ^{たかはし もえこ} 高橋 萌子 (29歳)

1. 五段
2. 警察官 (神奈川県警察)
3. 法政大
4. 新潟県
5. 選手権大会7回目出場優勝
世界大会団体優勝



兵庫県代表

㉘ ^{きむら あゆみ} 木村 歩由実 (30歳)

1. 五段
2. 警察官 (兵庫県警察)
3. 大阪体育大学
4. 高知県
5. 選手権大会2回目出場
全日本女子学生優勝大会3位



秋田県代表

③① ^{かとう ゆか} 加藤 由佳 (39歳)

1. 六段
2. 教員 (秋田県立秋田北高)
3. 筑波大
4. 秋田県
5. 選手権大会14回目出場
東西対抗大会出場
女子都道府県大会出場
全国教職員大会出場
国体出場



福岡県代表

③② ^{むらた ももこ} 村田 桃子 (24歳)

1. 四段
2. 警察官 (福岡県警察)
3. 鹿屋体育大
4. 福岡県
5. 選手権大会4回目出場
女子都道府県大会2位
全日本女子学生選手権大会優勝・2位・3位



徳島県代表

③③ ^{やまむら あいこ} 山室 愛子 (19歳)

1. 三段
2. 学生 (大阪体育大1年)
- 3.
4. 徳島県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全国高校大会出場



京都府代表

③④ ^{おごき あさみ} 尾崎 麻美 (旧姓 高馬) (32歳)

1. 六段
2. 警察官 (京都府警察)
3. 鹿屋体育大
4. 岡山県
5. 選手権大会5回目出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生選手権大会団体優勝
国体出場
全国警察剣道大会3位
全国警察剣道選手権大会出場



神奈川県代表

③⑤ ^{まつもと みづき} 松本 弥月 (30歳)

1. 五段
2. 警察官 (神奈川県警察)
3. 法政大
4. 福岡県
5. 選手権大会9回目出場優勝2回
世界大会団体優勝3回・個人優勝2回
全国警察剣道選手権大会優勝



岐阜県代表

③⑥ ^{たけむら なおみ} 竹村 奈緒美 (33歳)

1. 六段
2. 会社員 (株式会社バローホールディングス)
3. 法政大
4. 滋賀県
5. 選手権大会10回目出場2位
女子都道府県大会出場
国体出場
全国警察剣道選手権大会2位



千葉県代表

③⑦ ^{おおいし のぞみ} 大西 希望 (20歳)

1. 三段
2. 学生 (立教大2年)
- 3.
4. 熊本県
5. 選手権大会初出場
全国高校大会団体出場
全国高校選抜大会出場
国体優勝



長崎県代表

③⑧ ^{いわもと るるこ} 岩本 瑚々 (20歳)

1. 四段
2. 学生 (筑波大2年)
- 3.
4. 大分県
5. 選手権大会3回目出場
女子都道府県大会3位
全国高校選抜大会出場
国体2位・3位



広島県代表

③⑨ ^{なごし ともみ} 名越 友美 (29歳)

1. 五段
2. 警察官 (広島県警察)
3. 大阪体育大
4. 広島県
5. 選手権大会4回目出場
女子都道府県大会出場
国体出場



大阪府代表

④⑩ ^{ふじさき かおり} 藤崎 薫子 (25歳)

1. 四段
2. 警察官 (大阪府警察)
3. 明治大
4. 熊本県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生優勝大会優勝2位
全日本女子学生選手権大会優勝・3位



埼玉県代表

④① ^{おがわ りりか} 小川 梨々香 (23歳)

1. 四段
2. 会社員 (伊田テクノス株式会社)
3. 日本体育大
4. 新潟県
5. 選手権大会5回日出場
全日本女子学生優勝大会3位



島根県代表

④② ^{もりやま かよ} 森山 加世 (30歳)

1. 五段
2. 教員 (松江養護学校)
3. 日本体育大
4. 島根県
5. 選手権大会4回日出場
全日本女子学生優勝大会3位
全国高校大会3位
全国高校選抜大会3位
全国警察剣道選手権大会3位



兵庫県代表

④③ ^{まつもと みずほ} 松本 泉帆 (24歳)

1. 四段
2. 警察官 (兵庫県警察)
3. 鹿屋体育大
4. 和歌山県
5. 選手権大会3回日出場
全日本女子学生選手権大会優勝・2位・3位



北海道代表

④④ ^{のち ことね} 能地 琴音 (18歳)

1. 三段
2. 高校生 (東海大学付属札幌高3年)
- 3.
4. 北海道
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全国高校大会出場
全国高校選抜大会出場



東京都代表

④⑤ ^{あべ みひろ} 阿部 美洸 (29歳)

1. 五段
2. 警察官 (警視庁)
3. 法政大学
4. 神奈川県
5. 選手権大会7回日出場
全国警察剣道選手権大会優勝



石川県代表

④⑥ ^{たかぎ なつみ} 高木 夏海 (24歳)

1. 四段
2. 教員 (金沢市立緑中学校)
3. 大阪教育大
4. 石川県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生選手権大会出場
全国高校大会出場
国体出場



愛知県代表

④⑦ ^{かたやま みさき} 片山 果沙稀 (26歳)

1. 五段
2. 警察官 (愛知県警察)
3. 鹿屋体育大
4. 和歌山県
5. 選手権大会4回日出場
全日本女子学生選手権大会優勝・2位



福岡県代表

④⑧ ^{いとやま あみ} 糸山 亜美 (27歳)

1. 五段
2. 警察官 (福岡県警察)
3. 日本体育大
4. 福岡県
5. 選手権大会4回日出場
女子都道府県大会優勝
全日本女子学生優勝大会優勝



茨城県代表

④⑨ ^{かきもと さつき} 柿元 冴月 (21歳)

1. 三段
2. 学生 (法政大3年)
- 3.
4. 福岡県
5. 選手権大会2回日出場
全日本女子学生優勝大会2位
全国高校大会団体2位・個人優勝
全国高校選抜大会2位
国体優勝



山形県代表

⑤⑩ ^{さいとう まきこ} 齋藤 真紀子 (25歳)

1. 五段
2. 教員 (庄内農業高)
3. 日本体育大
4. 山形県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場



熊本県代表

⑤① ^{わたなべ} 渡邊 タイ (30歳)

1. 五段
2. 警察官 (熊本県警察)
3. 日本体育大
4. 熊本県
5. 選手権大会8回目出場3位2回
世界大会出場団体優勝2回
女子都道府県大会出場2位



三重県代表

⑤② ^{いのうえ あやか} 井上 彩花 (旧姓 前田) (28歳)

1. 五段
2. 学校支援員 (鈴鹿市立創徳中)
3. 天理大
4. 奈良県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生優勝大会出場
全国高校大会出場



山梨県代表

⑤③ ^{あるが まき} 有賀 真紀 (28歳)

1. 五段
2. 教員 (甲府商業高)
3. 明治大
4. 山梨県
5. 選手権大会6回目出場
女子都道府県大会出場
国体出場



滋賀県代表

⑤④ ^{やぎ ゆずみ} 八木 優澄 (20歳)

1. 四段
2. 学生 (国土館大2年)
- 3.
4. 滋賀県
5. 選手権大会2回目出場
女子都道府県大会出場
全国高校大会出場
国体出場



東京都代表

⑤⑤ ^{わかさぎ ひろえ} 和栗 宏恵 (28歳)

1. 五段
2. 警察官 (警視庁)
3. 駒澤大学
4. 東京都
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生優勝大会出場
全日本女子学生選手権大会出場



高知県代表

⑤⑥ ^{たちばな あいり} 立花 愛莉 (20歳)

1. 三段
2. 学生 (高知大2年)
- 3.
4. 佐賀県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生優勝大会出場
全国高校大会出場
全国高校選抜大会出場
国体出場



福岡県出身

⑤⑦ ^{せの お まいか} 妹尾 舞香 (22歳)

1. 四段
2. 学生 (鹿屋体育大4年)
- 3.
4. 福岡県
5. 選手権大会3回目出場優勝
世界大会個人3位
全国高校大会団体・個人優勝



群馬県代表

⑤⑧ ^{まし た} 眞下 ゆず (18歳)

1. 三段
2. 高校生 (共愛学園高3年)
- 3.
4. 群馬県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会出場
全国高校大会個人出場
国体出場



山口県代表

⑤⑨ ^{たむら くみ} 田村 久美 (29歳)

1. 五段
2. 教員 (山口県桜ヶ丘高)
3. 国土館大
4. 山口県
5. 選手権大会4回目出場
全日本女子学生選手権大会優勝
国体2位



福島県代表

⑥⑩ ^{わかまつ ちはる} 若松 千春 (42歳)

1. 五段
2. 教員 (福島県立小名浜海星高)
3. 早稲田大
4. 福島県
5. 選手権大会2回目出場
全国教職員大会5回出場
国体4回出場



鹿児島県代表

⑥1 ^{すえよし あんり} 末吉 杏梨 (26歳)

1. 四段
2. 警察官 (鹿児島県警察)
3. 志学館大
4. 鹿児島県
5. 選手権大会初出場
女子都道府県大会2位



奈良県代表

⑥3 ^{あいはら さやの} 相原 清乃 (25歳)

1. 四段
2. 会社員 (パナソニック株式会社)
3. 立命館大
4. 奈良県
5. 選手権大会6回日出場
女子都道府県大会出場
全国実業団大会優勝



千葉県代表

⑥2 ^{ながい あんな} 永井 杏奈 (21歳)

1. 三段
2. 学生 (順天堂大3年)
- 3.
4. 千葉県
5. 選手権大会初出場
全日本女子学生優勝大会出場



富山県代表

⑥4 ^{さとう しお} 佐藤 詩央 (旧姓 川口) (27歳)

1. 四段
2. 警察官 (富山県警察)
3. 愛知学院大学
4. 富山県
5. 選手権大会2回日出場
女子都道府県大会出場
全日本女子学生優勝大会出場
全日本女子学生選手権大会出場

出場選手内訳

1.職業別員数				学 生	23名
				警 察 官	22名
				教 職 員	10名
				会 社 員	4名
				団 体 職 員	2名
				高 校 生	2名
				公 務 員	1名
2.平均年齢					25.0歳
				最 年 長	39歳
				最 年 少	18歳
3.出場回数別員数		14回	1名	6回	3名
		11回	1名	5回	3名
		10回	1名	4回	6名
		9回	1名	3回	4名
		8回	2名	2回	13名
		7回	4名	初回	25名
4.段位別員数				六 段	4名
				五 段	20名
				四 段	24名
				三 段	16名

全日本女子剣道選手権大会入賞者一覧

第1回大会（昭和37年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・柳沼節子（東京、五段、24） 第2位・中村圭江（東京、三段、19） 第3位・越田浩子（静岡、四段、21） 第3位・川口一江（愛知、三段、27）	第2回大会（昭和38年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・柳沼節子（東京、五段、25） 第2位・越田浩子（静岡、四段、22） 第3位・中村圭江（東京、三段、20） 第3位・高野洋子（神奈川、二段、20）
第3回大会（昭和39年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・尾上和恵（広島、二段、17） 第2位・井千代子（北海道、四段、38） 第3位・越田浩子（静岡、五段、23） 第3位・吉ミコ（奈良、初段、17）	第4回大会（昭和40年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・松尾和恵（東京、三段、18） 第2位・田淵藤子（岡山、二段、18） 第3位・佐和征代（兵庫、二段、25） 第3位・井上千代子（北海道、五段、39）
第5回大会（昭和41年5月3日、神戸市中央体育館） 優勝・田淵和江（岡山、二段、19） 第2位・船越弘美（大分、三段、24） 第3位・高松文和（神奈川、二段、17） 第3位・松尾和恵（東京、三段、19）	第6回大会（昭和42年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・松尾和恵（東京、四段、20） 第2位・石本妙子（福岡、二段、18） 第3位・木村慶子（新潟、四段、16） 第3位・佐藤藤代（兵庫、三段、27）
第7回大会（昭和43年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・田淵和江（岡山、三段、21） 第2位・高矢美文（愛媛、三段、19） 第3位・中野美江（神奈川、二段、19） 第3位・高橋節子（福島、三段、20）	第8回大会（昭和44年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・桑原永子（熊本、二段、18） 第2位・高松枝子（静岡、三段、21） 第3位・古智子（長崎、三段、21） 第3位・坂下恵子（鹿児島、三段、22）
第9回大会（昭和45年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・桑原幸子（東京、三段、19） 第2位・茨城和子（茨城、三段、18） 第3位・田淵和江（岡山、四段、23） 第3位・須藤文子（福岡、二段、18）	第10回大会（昭和46年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・桑原永子（熊本、三段、20） 第2位・佐竹千代子（高知、三段、20） 第3位・池田百代（岐阜、初段、16） 第3位・工藤十四子（青森、三段、19）
第11回大会（昭和47年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・高橋政子（東京、三段、19） 第2位・久米村加代子（鹿児島、二段、17） 第3位・吉峰美智子（熊本、三段、19） 第3位・小松律子（秋田、二段、17）	第12回大会（昭和48年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・黒須厚子（栃木、三段、18） 第2位・久米村加代子（大阪、二段、18） 第3位・平川潤子（京都、二段、16） 第3位・満石輝代（岐阜、二段、16）
第13回大会（昭和49年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・黒須厚子（栃木、三段、19） 第2位・浜田ひろみ（三重、二段、19） 第3位・尼子保子（山口、二段、17） 第3位・平川潤子（京都、二段、17）	第14回大会（昭和50年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・田中由美子（大阪、三段、19） 第2位・吉峰美智子（熊本、四段、22） 第3位・吉野都起子（神奈川、四段、24） 第3位・根本道世（大阪、三段、20）
第15回大会（昭和51年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・黒須厚子（東京、三段、21） 第2位・武居ひろ美（山口、二段、18） 第3位・土屋明美（山形、二段、17） 第3位・渡辺みどり（徳島、三段、19）	第16回大会（昭和52年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・根本道世（大阪、四段、22） 第2位・堀あけみ（茨城、四段、20） 第3位・前田シン子（群馬、五段、28） 第3位・足立善子（滋賀、三段、20）
第17回大会（昭和53年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・根本道世（大阪、四段、23） 第2位・堀あけみ（茨城、四段、21） 第3位・小松律子（神奈川、四段、23） 第3位・中真紀（兵庫、三段、21）	第18回大会（昭和54年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・小松律子（神奈川、四段、24） 第2位・長谷川美奈子（新潟、二段、17） 第3位・矢野かな（東京、三段、20） 第3位・裏領湖（北海道、三段、19）
第19回大会（昭和55年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・矢野かな（東京、四段、21） 第2位・二ツ森弘礼（青森、三段、21） 第3位・藤田瑞美（福岡、二段、17） 第3位・藤田瑞恵（福岡、二段、20）	第20回大会（昭和56年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・森田瑞恵（福岡、三段、21） 第2位・川添永美（高知、五段、30） 第3位・光浦清子（山口、三段、19） 第3位・二ツ森礼子（青森、四段、22）
第21回大会（昭和57年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・福之上里美子（鹿児島、二段、17） 第2位・大村金（東京、四段、22） 第3位・上浦かな（東京、四段、23） 第3位・道園郁代（熊本、三段、20）	第22回大会（昭和58年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・森田瑞恵（東京、三段、23） 第2位・川添永子（高知、五段、32） 第3位・都村祐子（香川、四段、20） 第3位・福之上里美（東京、三段、18）
第23回大会（昭和59年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・福之上里美（東京、三段、19） 第2位・森田瑞恵（東京、三段、24） 第3位・河野聡子（大分、三段、20） 第3位・栗田幸枝（埼玉、二段、16）	第24回大会（昭和60年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・三谷菜智（愛知、三段、20） 第2位・藤田弘理（茨城、四段、22） 第3位・平山理恵子（熊本、二段、16） 第3位・花野優子（和歌山、二段、17）
第25回大会（昭和61年5月3日、大阪市中央体育館） 優勝・佐竹みゆき（熊本、三段、18） 第2位・大堀真奈美（鹿児島、三段、19） 第3位・福之上里美（東京、四段、21） 第3位・柴幸喜恵（愛知、三段、21）	第26回大会（昭和62年5月31日、守口市市民体育館） 優勝・川俣真由美（大阪、二段、17） 第2位・山崎圭子（千葉、三段、20） 第3位・福之上里美（東京、四段、23） 第3位・栗田幸枝（埼玉、三段、19）
第27回大会（昭和63年5月2日、大阪市中央体育館） 優勝・溝口貴子（宮崎、四段、20） 第2位・福之上里美（大阪、四段、20） 第3位・栗田幸枝（埼玉、三段、20） 第3位・岩瀬留美（愛知、三段、21）	第28回大会（平成元年5月4日、大阪市中央体育館） 優勝・倉地富美恵（東京、三段、21） 第2位・本多妃佐子（長崎、初段、17） 第3位・北弥生（熊本、三段、20） 第3位・堤利恵（大分、四段、20）
第29回大会（平成2年9月9日、守口市市民体育館） 優勝・近藤洋子（東京、四段、23） 第2位・川畑地重（大阪、二段、18） 第3位・倉地富美恵（東京、四段、22） 第3位・牛木さつ子（東京、五段、28）	第30回大会（平成3年9月8日、守口市市民体育館） 優勝・西谷晴乃（鹿児島、三段、19） 第2位・山百合香（鹿児島、三段、19） 第3位・福之上里美（大阪、四段、23） 第3位・大村恵理（岡山、三段、17）

第31回大会 (平成4年9月13日、守口市民体育館) 優勝・鍋谷山玲子 (福岡、二段、17) 第2位・石山百合香 (大阪、三段、20) 第3位・山本恵美 (東京、三段、21) 第3位・石井真弓 (埼玉、二段、18)	第32回大会 (平成5年9月12日、守口市民体育館) 優勝・石川真理子 (大阪、五段、25) 第2位・田俣真由美 (神奈川、四段、23) 第3位・國村裕子 (香川、四段、21) 第3位・鍋山玲子 (福岡、三段、18)
第33回大会 (平成6年9月11日、守口市民体育館) 優勝・石田真理子 (大阪、五段、26) 第2位・西崎乃子 (鹿児島、四段、22) 第3位・高田智子 (大阪、四段、22) 第3位・村山夏 (新潟、三段、20)	第34回大会 (平成7年9月10日、愛知県武道館) 優勝・川畑百重 (東京、四段、23) 第2位・川馬佳代 (鹿児島、三段、20) 第3位・高松明 (東京、三段、22) 第3位・東森美環 (岡山、四段、23)
第35回大会 (平成8年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・甲斐敦子 (大阪、三段、19) 第2位・川畑百重 (東京、四段、24) 第3位・塚山千夏 (大阪、四段、24) 第3位・大柿真未 (和歌山、三段、20)	第36回大会 (平成9年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・大塚真由美 (神奈川、五段、28) 第2位・村山千夏 (新潟、三段、23) 第3位・木村美姫 (奈良、四段、25) 第3位・根本麻弥子 (千葉、五段、26)
第37回大会 (平成10年9月13日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・大塚真由美 (神奈川、五段、29) 第2位・河野朋恒 (福岡、三段、21) 第3位・水尾恒美 (大阪、四段、24) 第3位・福田美佐子 (長崎、四段、24)	第38回大会 (平成11年9月12日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・朝比奈静香 (東京、四段、24) 第2位・有馬佳代 (鹿児島、四段、24) 第3位・谷百合香 (京都、五段、28) 第3位・坪田祐佳 (岡山、三段、19)
第39回大会 (平成12年9月3日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・朝比奈静香 (東京、四段、25) 第2位・水馬恒恵 (大阪、五段、26) 第3位・馬場恵子 (大阪、四段、22) 第3位・田百合香 (京都、五段、29)	第40回大会 (平成13年9月2日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・堀口恭子 (山梨、四段、24) 第2位・馬佳代 (鹿児島、四段、26) 第3位・黒岩直美 (福岡、五段、28) 第3位・福田美佐子 (長崎、四段、27)
第41回大会 (平成14年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・坪祐佳 (岡山、四段、22) 第2位・有島佳代 (鹿児島、五段、27) 第3位・岡村圭里 (熊本、三段、22) 第3位・萩原寿 (大阪、四段、23)	第42回大会 (平成15年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・緒方希香 (熊本、四段、24) 第2位・朝比奈静香 (東京、五段、28) 第3位・興柁百合香 (茨城、三段、22) 第3位・田中百合香 (京都、六段、32)
第43回大会 (平成16年9月5日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝・岡田圭 (熊本、四段、24) 第2位・新里知佳野 (沖縄、四段、22) 第3位・島村百美 (東京、五段、32) 第3位・久木山満美 (東京、五段、28)	第44回大会 (平成17年9月4日、静岡県武道館) 優勝・村山千夏 (埼玉、五段、31) 第2位・緒方希香 (熊本、五段、26) 第3位・宮川瑠璃子 (茨城、三段、21) 第3位・恩田望 (静岡、三段、19)
第45回大会 (平成18年9月3日、静岡県武道館) 優勝・村山千夏 (埼玉、五段、32) 第2位・緒方希香 (熊本、五段、27) 第3位・坪田祐佳 (岡山、五段、26) 第3位・内田さくら (静岡、五段、28)	第46回大会 (平成19年9月2日、静岡県武道館) 優勝・村山千夏 (埼玉、六段、33) 第2位・田千さくら (静岡、五段、29) 第3位・鈴木愛梨 (山形、三段、20) 第3位・坪田祐佳 (岡山、五段、27)
第47回大会 (平成20年9月7日、静岡県武道館) 優勝・坪祐佳 (岡山、五段、28) 第2位・村山千夏 (埼玉、六段、34) 第3位・福片美佐子 (長崎、錬士六段、34) 第3位・田測和 (大阪、四段、23)	第48回大会 (平成21年9月27日、静岡県武道館) 優勝・村山千夏 (埼玉、錬士六段、35) 第2位・庄島幸恵 (東京、錬士六段、33) 第3位・新里知佳野 (新潟、五段、27) 第3位・坪田祐佳 (岡山、五段、29)
第49回大会 (平成22年9月26日、静岡県武道館) 優勝・石突小百合 (東京、五段、25) 第2位・鷹見由紀子 (千葉、四段、25) 第3位・山久美子 (東京、五段、27) 第3位・川越愛 (兵庫、四段、24)	第50回大会 (平成23年9月25日、兵庫県立武道館) 優勝・村山千夏 (埼玉、錬士六段、37) 第2位・正代小百合 (東京、五段、26) 第3位・黒河貴子 (広島、四段、24) 第3位・荒井 (埼玉、五段、28)
第51回大会 (平成24年9月2日、兵庫県立武道館) 優勝・山本真理子 (大阪、四段、24) 第2位・内村舞 (熊本、三段、31) 第3位・山口美紀 (神奈川、四段、22) 第3位・宮川瑠璃子 (山口、五段、28)	第52回大会 (平成25年9月8日、兵庫県立武道館) 優勝・山本真理子 (大阪、五段、25) 第2位・竹奈緒佳 (岐阜、四段、24) 第3位・小津野祐佳 (岡山、錬士六段、33) 第3位・石塚芳 (大阪、四段、25)
第53回大会 (平成26年9月7日、兵庫県立武道館) 優勝・田山秋恵 (大阪、五段、25) 第2位・松本弥友 (福岡、四段、22) 第3位・梅村友 (東京、三段、28) 第3位・山本真理子 (大阪、五段、26)	第54回大会 (平成27年9月13日、兵庫県立武道館) 優勝・松本弥月 (神奈川、四段、23) 第2位・田山秋恵 (大阪、五段、26) 第3位・山本真理子 (大阪、四段、27) 第3位・鷹見由紀子 (千葉、五段、30)
第55回大会 (平成28年9月11日、ホワイトリング) 優勝・正代小百合 (東京、六段、31) 第2位・山西ななみ (福岡、四段、21) 第3位・大西真理子 (大阪、五段、28) 第3位・松本弥月 (神奈川、四段、24)	第56回大会 (平成29年9月24日、ホワイトリング) 優勝・高橋萌子 (神奈川、四段、24) 第2位・興柁舞子 (宮崎、四段、36) 第3位・山本真理子 (大阪、五段、29) 第3位・渡邊タイ (熊本、四段、25)
第57回大会 (平成30年9月23日、ホワイトリング) 優勝・高橋萌子 (神奈川、四段、25) 第2位・佐藤みのり (福岡、四段、21) 第3位・松本智香 (福岡、四段、22) 第3位・大西ななみ (福岡、四段、23)	第58回大会 (令和元年9月8日、ホワイトリング) 優勝・松本弥月 (神奈川、五段、27) 第2位・山本真理子 (大阪、六段、31) 第3位・渡邊タイ (熊本、五段、27) 第3位・竹中美帆 (茨城、四段、22)
第59回大会 (令和3年3月14日、ホワイトリング) 優勝・諸岡温子 (東京、三段、20) 第2位・山崎奈奈 (宮崎、四段、21) 第3位・竹中美帆 (栃木、四段、23) 第3位・小松加奈 (青森、四段、22)	第60回大会 (令和3年9月19日、ジェイテクトアリーナ奈良) 優勝・妹尾舞香 (福岡、四段、21) 第2位・尾藤綾子 (埼玉、五段、29) 第3位・川合芳奈 (静岡、三段、19) 第3位・東堅嘉 (和歌山、三段、20)
第61回大会 (令和4年9月4日、ジェイテクトアリーナ奈良) 優勝・ 第2位・ 第3位・ 第3位・	

公開演武者の紹介

〈 日 本 剣 道 形 〉

城戸内 雅美
剣道教士七段
「打太刀」



伊東 たみ代
剣道教士七段
「仕太刀」



日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修錬の基本となるものです。

第61回全日本女子剣道選手権大会 記念品



赤 膚 焼

赤膚焼は、地元の鉄分をふくんだ土で焼くため、ほんのり赤い地肌をしています。そこに釉薬(うわぐすり)をかけて焼き上げます。赤膚のやわらかい風合いに加えて、絵図果経や東大寺蓮弁等の絵図を題材として、私なりにアレンジし、上下二本の線の中に人形や家が描かれているものが多く、又、奈良の風景や鹿、昔の物語などといった、色々な紋様を組み入れ繊細なタッチで描かれた奈良絵、素朴な味わいの器です。

赤膚焼 大 塩 恵 旦

全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX 番号)

令和4年7月14日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3 日本武道館内	TEL03(3211)5804	FAX(3211)5807
会長 網代忠宏	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル2階	TEL03(3234)6271	FAX(3234)6007
地方代表団体	会長	〒	事務局所在地	電話	FAX
(一財)北海道剣道連盟	武田 牧雄	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1 北海道立総合体育センター内	011(820)1662-1663	(820)1662-1663
青森県	増田 知幸	038-0059	青森市大字油川字中道19-6	017(787)2485	(787)2485
秋田県	目黒 大作	011-0945	秋田市土崎港西5-11-10	018(838)1783	(845)3255
山形県	安部 美知雄	990-0025	山形市あこや町3-1-28	023(625)4825	(625)4826
岩手県	小笠原 宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20 (一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220	(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1	022(746)8461	(746)8462
福島県	長谷川 弘一	960-0102	福島市鎌田字町23 サラダハウスA101号	024(597)8218	(597)8218
(一財)茨城県	小倉 培夫	310-0903	水戸市堀町1161-13	029(251)8811	(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6 栃木県教育会館2階	028(624)4567	(627)4001
群馬県	小林 一隆	371-0047	前橋市関根町3-27-12	027(235)0870	(235)0870
(公財)埼玉県	山中 茂樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5 浦和合同庁舎4階	048(834)8869	(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2	03(5405)2166	(5405)3680
(一財)千葉県	忍足 功	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20	043(285)4331	(285)4333
神奈川県	小林 英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1 相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175	(321)6176
山梨県	渡邊 宏一	409-3804	中央市井之口150-2	055(278)6162	(278)6163
(一財)新潟県	浅原 行雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21 北陽ビル2階	025(384)4784	(384)4794
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号	076(253)0310	(253)0341
(一財)富山県	牧田 稔	939-8076	富山市太郎丸2区77 伊勢税理士事務所内	076(492)4040	(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18 サンライズ二の宮 1-B	0776(28)6616	(28)6616
(一財)長野県	加瀬 浩明	380-0844	長野市諏訪町503	026(237)8939	(235)8266
(一社)静岡県	吉村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355	054(263)5428	(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市市中村区十王町11-22	052(481)0093	(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12 岐阜県水産会館611	058(274)1521	(274)8949
三重県	中森 博文	514-0007	津市大谷町152 大谷ハイム1-202号	059(226)5975	(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20 辻田ビル2階	077(514)3165	(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19	075(761)8288	(761)8287
(公社)大阪府	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1 若杉センタービル別館502号	06(6351)3345	(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14 不動ビル505号	0742(32)5008	(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2	073(432)7760	(432)7759
(公財)兵庫県	神谷 明文	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145	(802)5240
(一財)岡山県	山本 晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1	086(235)3255	(235)3245
(一財)広島県	田中 秀和	730-0014	広島市中区上幟町1-5	082(962)3076	(962)3087
(一財)山口県	中西 章	753-0083	山口市後河原237-1 警察体育館別館内	083(932)5072	(932)5073
(一財)鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216 瀧本ビル3階	0857(29)2668	(29)2668
島根県	高木 弘伸	690-0883	島根県松江市北田町47-1 鬼村純方	0852(27)6222	(27)6222
香川県	三原 悦男	760-0033	高松市丸の内4-6 アラキビル2階南	087(880)4463	(880)4467
(一社)愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28 福泉ビル205号	089(941)9394	(941)3013
高知県	渡邊 三則	780-0026	高知市秦南町1-5-12 恒石章彦方	088(871)5184	(871)5184
徳島県	藤川 和秋	770-0861	徳島市住吉3-9-6 栗本マンション106号	088(652)2337	(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1 福岡武道館内	092(712)1890	(712)1891
佐賀県	江島 良介	849-0923	佐賀市日の出2-1-11 佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184	(20)9888
(一財)長崎県	灰谷 達明	850-0036	長崎市五島町5-34 トーカンマンション1-E	095(826)5220	(826)5220
(一財)大分県	三浦 悟	870-0820	大分市西大道1-1-76 第2ハルキコーポ101号	097(547)9980	(547)9981
(一財)熊本県	尾方 正照	862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2 熊本武道館内	096(381)8998	(381)8998
宮崎県	橋口 光博	880-2102	宮崎市大字有田371-4	0985(62)3890	(62)3893
鹿児島県	俣木 正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20 県立武道館内	099(255)8778	(255)8778
(一財)沖縄県	親川 光俊	900-0026	那覇市奥武山町51-2 沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410	(996)4616

全剣連発行の頒布物一覧

令和4年9月

頒布物名	価 格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則(和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書(英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説(英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説(英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領(英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道和英辞典(第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本(改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A(第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック(第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法(英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理(英語版)	¥400	69	3

頒布物名	価 格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道学科審査の問題例と解答例(初段~五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開(DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
木刀による剣道基本技稽古法 DVD	¥3,600	92	15
居合DVD(英語版)	¥3,100	93	15
竹 刀 -剣道の発展を支えた竹刀の歩み- DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,300	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,300	13	16
カフス・タイピン(真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ(ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1 (先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2 (ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台 (ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい(白・紺・黄・あずき)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル(5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ エンジ(S)	¥2,500	170	20
ぶししTシャツ 白(S,M,L,LL)	¥2,500	263	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

*品物はすべて消費税込みとなります。

*全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

『購入申し込み方法』

- インターネットからのお申し込み・・・<https://zenkenren-shop.com>
- FAXでのお申し込み・・・心力舎企画株式会社 **03-3451-6905** へFAXして下さい。
 ①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。
お支払い金額(品物代金+送料)を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法(②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

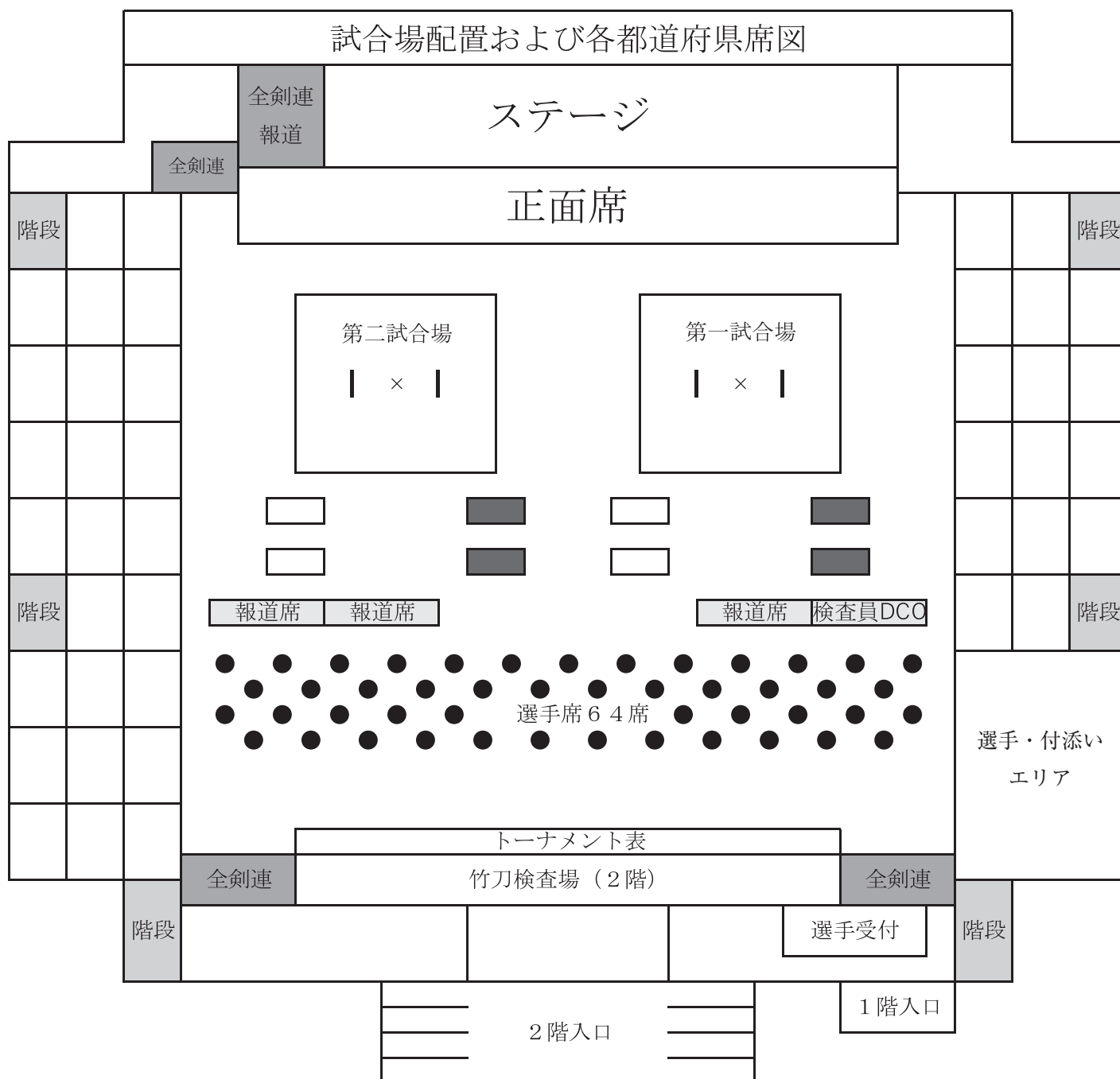
◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅 配 便・・・送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便・・・(この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ(厚さ20mmまで)の品物の配送に利用いただけます。

* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。



大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

月刊 剣 窓

—— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

お問い合わせ

全日本剣道連盟九段事務所

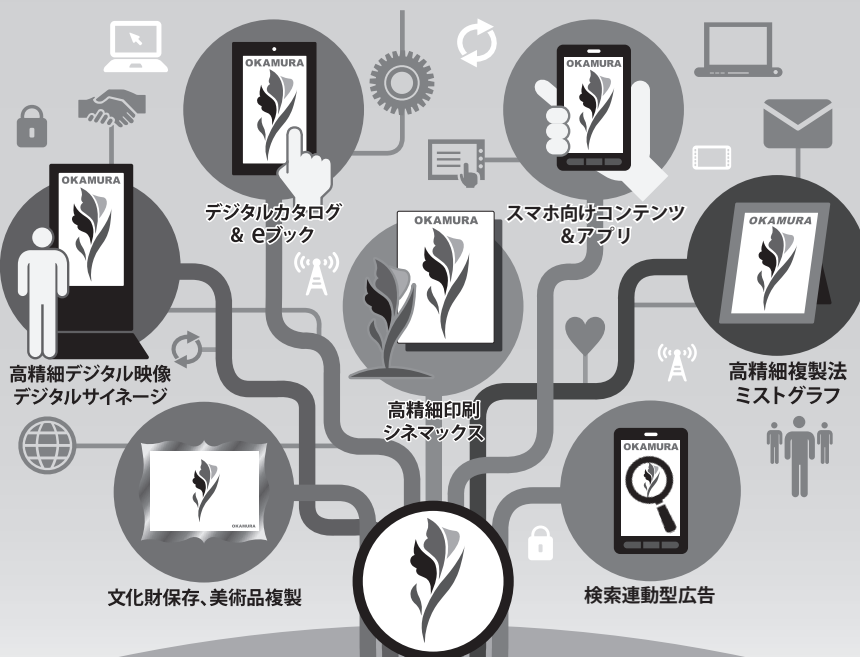
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2 階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

プリンティングソリューションに こだわるグッドパートナー



こだわりのプリンティング技術を新しいデジタルメディア技術へ

【本 社】

〒635-0143
奈良県高市郡高取町車木215
TEL : 0745-62-2701(代)
FAX : 0745-62-8564

【大阪事業部】

〒581-0038
大阪府八尾市若林町1-76-3 ステーションプラザ八尾南4階
TEL : 072-949-3334(代)
FAX : 072-949-3335

【名古屋営業所】

〒451-0045
名古屋市西区名駅三丁目6-20 福田ビル5階
TEL : 052-586-6411
FAX : 052-586-6415

【東京事業部】

〒110-0015
東京都台東区東上野1-9-6 ウエノU-PALビル5階
TEL : 03-5834-3581(代)
FAX : 03-5834-3583

② 岡村印刷工業株式会社



大吟醸酒／白橋 はくじゅ

酒米の最高峰とされる山田錦を六割以上削り、長期間低温醗酵させて造ります。透明感のある味と果実を彷彿させる豊かな香りが特徴です。



純米吟醸酒／利兵衛 りへい

発酵でどれくらいアルコールができるのか？そんな疑問に挑戦したお酒です。アルコール度数は20度。醸造酒では世界に類のない高濃度のお酒です。生涯のこだわり者であった創業者の名をとり利兵衛と名づけました。



純米酒／御代菊 みよきく

正暦寺由来 奈良うはし酵母使用
その昔、秘法といわれた酒造りが奈良で生まれました。およそ800年前に用いられていたその製法は水もと（菩提もと）と呼ばれています。純米酒 御代菊 は原料をすべて奈良産にこだわり、秘法水もとを現代に再現した古くて新しい日本酒です。



本醸造酒／御代菊 みよきく

酒屋のあま酒

日本酒の原料となる米麹を使った甘酒には天然の甘みと豊富なアミノ酸・ビタミンが含まれています。江戸時代には暑気払いのため子どもからお年寄りまで幅広く飲まれていました。先人の知恵が詰まった今も変わらない健康飲料です。
【アルコール0%】



蔵を見学
しませんか！



創業 享保三年 (1718年)
歴史と喜びをつたえる
大和の美酒。

喜多酒造株式会社



MIYOKIKU1718

奈良県橿原市御坊町8番地
Tel 0744-22-2419 Fax 0744-25-3588
Mail miyokiku@miyokiku.com

喜多酒造 奈良 検索



感動を届けたい!

「観戦」「参加」「運営」の
スポーツツーリズムをサポートします。



近畿日本ツーリスト



レンタルのニッケン

奈良営業所

〒639 -11 03 奈良県大和郡山市美濃庄町800
TEL:0743 -55 -5221 FAX:0743 -58 -2080
<https://www.rental.co.jp/>





人と技術で未来を築く

変革と創造

アクアソリューション

Aqua solution Co.,Ltd. 株式会社

(旧：宇陀環境開発株式会社)

代表取締役 尾田 肇 睦

本 社 〒634-0816 橿原市慈明寺町203番地の8
TEL.0744-22-3449 FAX.0744-25-7711

奈良支社

橿原本店

奈良市朱雀1丁目8-15 宇陀市橿原町長峯718番地



私たちは自然の恵み、トウモロコシを原料に
「環境調和企業」を目指します。



三和澱粉工業株式会社

本社・工場

〒634-8585 奈良県橿原市雲梯町594
TEL(0744)22-5531 FAX(0744)22-4177
<https://www.sanwa-starch.co.jp>

KAZUTAKA



日本製

ISHIZUE



MADE BY
KAZUTAKA

オリジナル
日本製甲手製造販売

オリジナル
剣道具一式販売
剣道具修理



〒630-8301

奈良市高畑町 614-1

梶原弘貴

携帯 080-4437-4526

FAX 0742-24-0115

<http://www.kazutakanara.com>

(株)東京正武堂®

株式会社 東京正武堂 特約代理店

剣道具のクリーニングも承ります



北斗武道具

TEL・FAX.0745-75-6128

〒636-0123 奈良県生駒郡斑鳩町興留2-5-1

<http://www.hokuto-budougu.jp/>

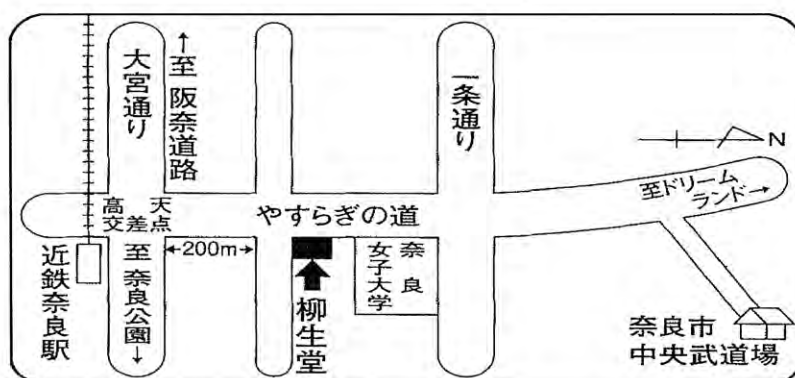


各種武道具専門
柳生堂
窪田武道具店

奈良店 奈良市内侍原町33 TEL/FAX 0742(22)8883

営業時間：AM10:00
PM 8:00

定休日：月曜日



赤膚焼



奈良市、大和郡山市に窯場が点在する陶器。

桃山時代に大和郡山城主であった豊臣秀長が
五条村赤膚山に開窯したと伝えられています。

小堀遠州七窯の一つで

白釉とかわいい奈良絵が

人気です。

〒630-8042 奈良市西ノ京町215の1
がんこ一徹長屋内
赤膚焼 大塩恵旦
TEL・FAX 0742(41)0657



選手の皆様、ご健闘をお祈りしております。



丸誠武道具店

所在地 〒630-8252 奈良県奈良市北小路町4-5

営業時間 火曜～土曜 10:00-20:00／日曜・祝 10:00-19:00

定休日 月曜日

奈良県奈良市にあります武道具専門の有限会社丸誠武道具店です。

剣道具・柔道衣・薙刀防具・空手衣・合気道衣などを主に取り扱っております。
初心者から有段者の方まで幅広く気楽にご来店して頂けるお店です。
道場や部活動での試合用なども全国からご注文を頂いております。

販売から修理などのアフターフォロー、アフターサービスまでおまかせください。
奈良にお越しの際は、是非お立ち寄りくださいませ。



ご来店、お待ちしております。

奥吉野の食文化を 古都奈良から全国へ

古くから貴人たちに愛され、
幾重にも連なる美しい峰々に抱かれた奈良・奥吉野。
そこに住まう人々が代々、大切に受け継いできた
美味なる寿司があります。
この清澄な風味を多くの方にお届けしたい。
そんな思いからゐざさの歴史は始まりました。
故郷の思い出にも似た懐かしい味わいを、
どうぞ心行くまでお楽しみください。



株式会社 中谷本舗

<https://www.izasa.co.jp/>

いざさ

検索



上北山村 本店

ご用命ははお近くの販売店、お電話、オンラインショップにて承ります。



0120-234-888

フリーFAX

0120-234-867

□受付時間:午前9:00~午後6:00 □年中無休

本 店	〒639-3701	奈良県吉野郡上北山村河合353	TEL. 07468-2-0008
平 城 山 店	〒631-0011	奈良県奈良市押熊町2141-1	TEL. 0742-48-5000
三 条 店	〒630-8227	奈良県奈良市林小路町17-1	TEL. 0742-23-0133
田 原 本 店	〒636-0226	奈良県磯城郡田原本町唐古	TEL. 0744-33-3448
夢風ひろば店	〒630-8212	奈良県奈良市春日野町16	TEL. 0742-22-8133

ようこそ、 日本のはじまりへ。

令和2年の御鎮座130年記念奉祝事業では、
境内の鳥居4基が約80年ぶりに修築され、
新旧材が融合した鳥居に生まれ変わりました。



表参道 第一鳥居

橿原神宮

〒634-8550 奈良県橿原市久米町934 電話：0744(22)3271／FAX：0744(24)7720
近鉄橿原神宮前駅下車 徒歩約10分 特急電車で大阪から約35分・京都から約55分

橿原神宮

検索



Instagram



Twitter

日々の風景や季節の情報を発信
橿原神宮公式SNS

私たちは《剣道》を応援しています

